

農業の現状と課題解決策は

田淵 多久市の農地集約率は。  
答弁 農地面積1,380ヘクタールのうち643ヘクタールが地域の担い手に集積され、その率は46.6%です。

田淵 農地の貸し手と担い手の現状は。  
答弁 農地の貸し手と担い手の現状は、貸し手が1,082人、借り手が297人です。貸し手は、高齢者・後継者の不足・相続による不在地主の増加により、貸し手は増加傾向で、担い手不足の実態が顕著です。農地の維持・管理には地域の協力が不可欠と思われます。

田淵 市内における農業生産法人の現状は。  
答弁 令和5年11月末現在8法人で、内訳は米作、施設野菜など6法人・養鶏1・畜産1の8法人です。今後規模拡大、新規作物への取り組みを検討されている法人もあり、市としても支援を続けていきます。



田淵 厚 議員

田淵 紛争による農業への影響は。  
答弁 物価高騰で、この状態が長引けば、農業をやめる人・倒産せざる得なくなる法人なども出てくること懸念されます。農家事業継続支援事業など、支援に取り組んでいます。

田淵 今後の対策と課題は。  
答弁 地域力、収量や品質の向上、そして多角化による所得の向上をはかり儲かる農業の確立が必要と思われまます。そのためにも、農家・関係機関だけでなく、市民のみならず現場の声に耳を傾け、有効な対策を検討し努めていきます。



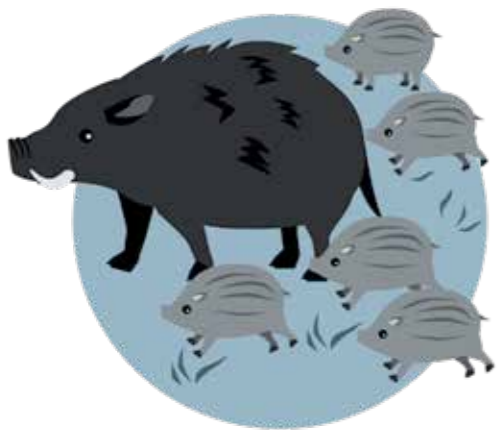
有害鳥獣の現状について

小川 農地管理が困難な中、有害鳥獣被害の現状をどのように認識されているのか。  
答弁 有害鳥獣対策は、今後も猟友会をはじめ、関係機関と連絡を密に取り、連携して市民のみならずの生命、財産に被害が及ばないよう対応してまいります。

小川 インシツ捕獲後の処理について。  
答弁 猟友会の人への捕獲後の処理方法のアンケート結果は、大多数の人が保冷施設を希望されています。施設の建設に当たっては、高額な建設費用、施設用地の確保、施設の維持管理、運営などの課題があり、今後他市町の処理施設の状況や広域処理も視野に入れ、引き続き研究してまいります。

小川 多久市における街路灯や標識などの現状について。  
答弁 街路灯には、道路利用者の安全確保のために道路管理者が設置している道路照明灯、防犯を目的に市や各行政区が設置している防犯灯、

老朽化した街路灯や交通標識などについて。  
答弁 街路灯には、道路利用者の安全確保のために道路管理者が設置している道路照明灯、防犯を目的に市や各行政区が設置している防犯灯、



小川 三郎 議員

商工会や事業所が主に商店街や駅前を通りを明るくするために設置されている街路灯があります。  
管理については設置者の責任により管理することが原則であり、市で設置している街路灯については適切な管理に努めています。また、標識は主に行政機関などで設置し今後も引き続き市民のみならずの安全や道路利用者の事故防止に向けて関係機関と協力し、適正な維持管理に努めてまいります。

多久市の情報発信について

市丸 多久市の魅力の情報発信の現状について。  
答弁 市民に対しての施策などの情報については、市報、行政放送、市のホームページなどでまた、市内外の多くのみなさまへの周知が必要なイベントなどの情報につきましては、ホームページ、フェイスブック、LINE、インスタグラム、X、プレスリリースなどを通じて情報発信、情報提供を行っています。

市丸 定住という観点での情報発信が必要ではないか。  
答弁 孔子の里・文教のまち多久ということまで幅広く情報発信を行っている。あわせて、子育てしやすいまち多久、アートのまち多久ということで、新たな取り組みとして現在行っています。

市丸 財政的な支援は。  
答弁 多久市ふるさと振興助成金で、地域づくりや地域の活性化を目的としたイベントを支援しています。

地域活動団体への支援について

市丸 財政的な支援は。  
答弁 多久市ふるさと振興助成金で、地域づくりや地域の活性化を目的としたイベントを支援しています。



市丸 勝義 議員

市丸 多久市ふるさと振興助成金とは。  
答弁 人材育成、伝承芸能、伝統行事、地場物産または観光物産開発、地域づくりや地域の活性化のためのイベント開催費用に対して、一定補助する制度です。

市丸 小さな地域のイベントにも活用できるか。  
答弁 イベントの大小にかかわらず、要件が合えば補助が出来ます。

市丸 中間支援組織を設置してみたい。  
答弁 今後はそういう団体の認定などについても、必要になっていくのではないかと認識しています。



多久市定住施策について

坂口 多久市の人口は10月に1万8,000人を切りました。多久市における現在の定住施策は。  
答弁 多久市定住奨励金制度として①子育て・若者世帯定住奨励金②親元同居増改築補助金③空き家バンク利活用補助金④移住子育て世帯家賃補助金⑤新婚世帯家賃補助金⑥事業者を支援する宅地造成支援補助金があります。また、令和4年度より国、県と連携し結婚新生活支援事業補助金などがあります。

坂口 若い世代に魅力のある施策として奨学金返済への補助の考えは。  
答弁 令和7年度に新しい定住制度を考えていきます。その際に多久市官民協働プロジェクト推進会議などで、よりよい制度を検討してまいります。

多久市窓口DXについて  
坂口 書かない窓口を実施される自治体が増える中、多久市としての方向性は。  
答弁 来年度の実施に向けて準備を進め実現したい。

多久市窓口DXについて  
坂口 書かない窓口を実施される自治体が増える中、多久市としての方向性は。  
答弁 来年度の実施に向けて準備を進め実現したい。



坂口 絹代 議員

坂口 コンビニでの各種証明書の発行の考えは。  
答弁 DX推進の観点からも、来年度の実施に向けて現在準備を進めています。

坂口 住民ボランティア移動支援サービスとは。  
答弁 介護保険制度における市町サービス事業で佐賀中部広域連合の受託収入を財源とし①通院などの場合に送迎前後の付き添いと送迎の支援②通所型サービスや通いの場への送迎支援③通いの場などへの送迎支援+買物付き添い支援があります。多久市としてもぜひ予算をつけていただきたいと思います。